

「陝北黄土高原」に関心をお持ちの方へ

黄河にかかる中秋の名月を見に行こう!

変わりつつある陝北黄土高原を訪ねて、現地のすごさを実感してみませんか。果てしなくという表現しか思い浮かばない黄土の広がりの中を大蛇のようにうねり流れる悠久の黄河の流れにきっと感じる何かがあると思います。今年の中秋は9月24日とのことで、中秋に合わせた黄土高原滞在予定を組んで頂きました。又、9月はこの地方が一番美しいとのことですよ。

旅のコーディネーターは‘わんりい’の何人かの皆さんがよくご存じで、‘わんりい’の新年会にも参加されたことのある、山西省国際旅行社・黄玉雄さんをお願いしました。

尚、この旅行は希望者によるツアーです。

●問合せ：田井：☎ 042-734-5100

E-mail:wanli@jcom.home.ne.jp

陝北旅行内容と見積もり(10名参加として)

22日	東京→西安		西安泊
23日	西安→延安	移動の途中で黄帝廟見学 革命遺跡見学	延安泊
24日 (中秋)	延安→小程村	黄河博物館見学 黄河にかかる月を鑑賞	小程村泊
25日	小程村滞在	乾坤湾 清水関見学 ポート又は遊覧船に乗って 黄河遊覧	小程村泊
26日	小程村→延川	高鳳蓮芸術館見学 文安驛古鎮(注)の見学	文安驛古鎮泊(注)
27日	文安驛古鎮 →西安	時間があれば始皇帝陵・兵馬俑・華清池など見学 或いは自由行動	西安泊
28日	西安→東京		

(注)：明清時代には規模が比較的大きな宿場町で、貨物の集散地として賑わっていた。高鳳蓮芸術館がある近くで宿泊設備もある。

※現地費用は、ガイド料、車代、宿泊費(ツイン部屋を一人で利用)を合計して約8万円です。但し、観光地入場料は年齢による割引がありますので、費用に入っておりません。滞在費用とは別に600元ほどのご用意をお願いします。(宿泊費は友人など同室に泊まる場合は半額になります。また、旅行者への支払いへ日本円ですが、入場料などは元で支払います)

※東京と西安の往復チケットはチケットは参加者が相談をして決め、各自が購入下さいください。東方航空を使った場合の往復は6～7万円位ではないかと思ひます。

※参加申し込みの締め切りを5月31日にします。参加されるかどうか迷っていらっしゃる方もご連絡頂ければと存じます。6月初めに一度集まり、航空会社をどこにするかなどをご相談したいと思ひます。尚、参加者数によって滞在費は変わりますので、参加不参加の最終決定は、ミーティング後で決めて頂いてよいです。